

## 会告

## 第154回 岡放技セミナー 開催案内

日時：令和6年9月7日(土) 14:00 - 17:00(受付 13:30～)

場所：岡山市立市民病院 1F 多目的ホール

開催方法：集会および webinar

参加費：会員・学生は無料 非会員 2,000 円

お申込み：岡山県診療放射線技師会ホームページ事前参加申請フォームより  
お申し込み下さい <http://www.oart.jp>

主催：公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

後援：岡山県 (疾第 133 号)

- \* 岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます
  - \* 本セミナーの受講により岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会肺がん部会の定める精密検診機関基準は満たされます
  - \* オンラインにつきましては何かしらの通信障害が発生する可能性がありますことをご了承ください
- 【情報交換会】岡山駅前本町 4000 円～5000 円 事前参加申請フォームよりお申し込みください

## — プログラム —

14:00～14:05 【開会挨拶】

14:05～15:05 令和6年度岡山県生活習慣病検診等管理者指導協議会  
第1回肺がん部会研修会  
【教育講演】

『 看護師の働き方改革 ～スキルアップは原動力～ 』

岡山協立病院 看護部 島田聖也 先生

15:15～16:30

【シンポジウム・診療報酬】

座長 竜操整形外科病院 難波修 先生

コメンテーター 倉敷中央病院 田淵隆 先生

『 2024 年度診療報酬改定 ～放射線分野を中心として～ 』(45 分)

株式会社根本杏林堂 医療政策担当部長 鍵谷昭典 先生

『 医療法人 岡山画像診断センターにおける診療報酬について 』(30 分)

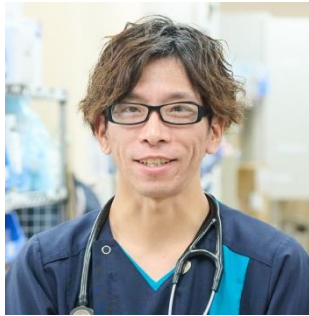
岡山画像診断センター 事務管理部 竹内美砂 先生

16:35～16:55 討論

16:55～17:00 【閉会挨拶】

/\*\*\*\*\* 講師の島田先生よりメッセージ \*\*\*\*\*/

/\*\*\*\*\* 講師の鍵谷先生よりメッセージ \*\*\*\*\*/



【経歴】

高知大学医学部看護学科卒業。  
 岡山医療生活協同組合 総合病院岡山協立病院へ就職  
 福井大学大学院医学系研究科付属地域医療高度化教育研究センター  
 看護キャリアアップ部門 慢性呼吸器疾患看護認定看護師課程修了  
 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター特定行為研修修了

【主な保有資格】

認定看護師(B課程)〔呼吸器疾患看護〕(登録番号 B2860)  
 特定行為「気管カニューレの交換」



【経歴】

同志社大学工学部機械工学科卒業  
 東京女子医科大学医工学研究施設(現 先端生命医学研究所)  
 にて、バイオ・メディカル・エンジニアリング課程修了  
 キヤノンライフケアソリューションズ株式会社等で勤務後、  
 株式会社根本杏林堂医療政策担当部長として現在に至る

【主な保有資格等】

認定登録 医業経営コンサルタント  
 経済産業省推進資格 ITコーディネーター

皆様、はじめまして。現在(日本看護協会 HP 調べ)、岡山県内に呼吸器を専門とした認定資格(慢性呼吸器疾患看護認定看護師もしくは呼吸器疾患看護認定看護師)取得者は、3人しかいません。

私がスペシャリストや教育担当となって以来、本来イメージしていた看護師像とは大きく異なるお仕事を任せられるようになりました。医療の2024年問題という言葉を目にしたことがあるかと思います。医師の働き方改革を進めていく上でタスクシフト、シェアが重要となっています。

診療報酬の改訂など医療現場は日進月歩の状況であります。医師だけでなく、多くの医療職の活躍が求められる時代です。私はそれを「重荷」だとは考えておらず、むしろ働き方の幅が拡大し、適材適所で輝ける場が増えていて好機と捉えております。今回は、現在の自身の働き方や今後の展望などをお話させて頂き、スキルアップの良さについてお伝えできたらと思っております。

当日、お会いできる事を楽しみにしております。

今回の診療報酬改定は医療従事者の賃金ベースアップや医療DX等への評価に比べ、医療技術評価は厳しい内容でした。

その中で放射線関連では画像診断分野においては、画像診断管理加算の見直し(画像診断管理加算2の減点、新たな画像診断管理加算3の新設、これまでの加算3の画像診断管理加算4への名称変更等)、ポジトロン断層撮影における18F標識フルシクロピンを用いた場合、及びアミロイドPETイメージング剤を用いた場合の評価の新設、乳房トモシンセシス加算の新設等の評価が行われました。

また、放射線治療分野においては、強度変調放射線治療での小細胞肺癌治療における照射の間隔が6時間を超える場合に2回目の算定が可能、医療機器安全管理料2に密封小線源治療機器を追加、難治性がん性疼痛緩和指導管理加算の新設等の評価が行われました。

これらの内容の詳細を解説するとともに、今回の改定で先生方に役に立ちそうな関連情報の提供等も行う予定です。

/\*\*\*\*\* 講師の竹内先生よりメッセージ \*\*\*\*\*/



【経歴】

2003年より岡山大学中央放射線部 受付 勤務  
2006年より医療法人岡山画像診断センター 事務管理部 勤務

医療法人岡山画像診断センター 事務管理部 竹内と申します。当センターに勤務し始めて丸18年となります。

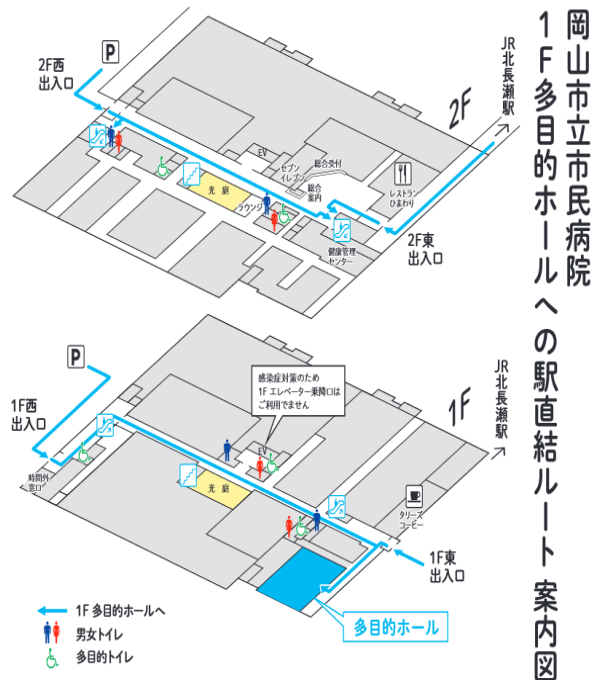
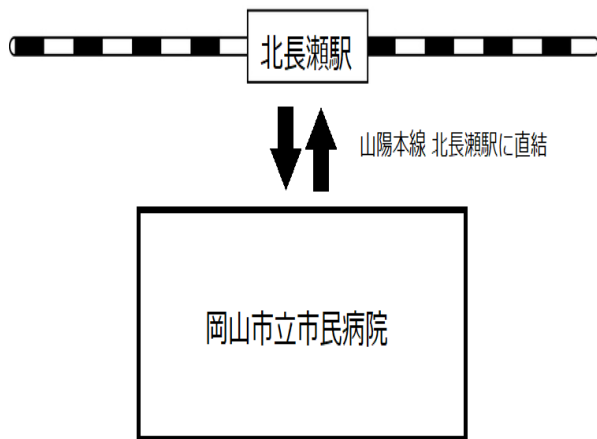
初めは受付業務と併用してレセプト業務を担当しておりましたが、10年ほど前よりレセプト担当として請求作業をメインに勤務しております。

当センターは外来放射線科のみ、お薬の処方などありませんので、総合病院様の請求と比べると複雑なものではありませんが、請求内容について皆様にご紹介させていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

<アクセス>

JR 山陽本線 北長瀬駅より徒歩1分



\*お車でお越しの方へ:岡山市市民病院駐車場は無料です